

東京ベイ・浦安市川医療センター 内科専門研修プログラム

当院は2012年に開院した、千葉県浦安市にある344床の急性期病院です。当院では北米式の研修システムを取り入れ日本に合うようにアレンジしていますが、その目的は渡米前のトレーニングや病院の米国化ではありません。国際標準を学び世界に通用する医師を育成すること、そして当院から世界の標準医療を日本の地域に浸透させていくことが目的です。

◇ バランスに富む症例への曝露、総合内科と専門科の連携

総合内科では診療・教育体制はチーム制を採用しており、初期研修医1名・内科系後期研修医2名と指導医1名の4人1チームの屋根瓦式です。総合内科として常時120 - 150人程、年間で約4500名の内科急性期の症例を担当します。内科系の入院患者は基本的にすべて総合内科が担当し、各専門科が担当コンサルタントとしてチームに加わり、一緒に診療を行います。

現在内科系では30名程度の後期研修医が所属していますが、総合内科・救急外来・集中治療・地域研修・専門科選択研修など、内科医の基本を作るためのバランスの取れたカリキュラムを展開しています（2017年度新専門医制度準拠：内科は基幹プログラム）

◇ 充実した教育カンファレンス

毎朝行われる臨床推論カンファレンス、循環器とのカンファレンス、各専門科レクチャーによるレクチャー。ジャーナルクラブに加え、夕方のカンファレンス（循環器、老年医学、M&M、倫理）も充実しています。初期～後期研修医による症例提示はほぼ毎日行われ、各専門医、スタッフ医師からの質問、フィードバックが飛び交います。

日本の新規病院でこれだけの布陣を揃えて、一つの理念に則って病院運営ができる病院は少ないと思います。

是非、東京ベイの研修プログラムにお越しください。